

相談者・相談内容：行動するよさの伝え方



大分県中津市立
豊田小学校
和田 由美子 先生

正しいと思っていることが言えるようになるには、どんなことが大切か考えるとき、「友だちと一緒に言う」や「先生に言う」などの考えが出て、そこに落ち着きそうになります。自ら正しいと信じる場所に促って行動することのよさをどのように理解させるかが難しいと感じています。

3年

【主題名】
どうすることが正しいか
【教材名】
思い切って言ったらどうなるの？
(光文書院)

主題を通して考えたいこと

＜●善悪の判断，自律，自由と責任＞

- 自分が正しいと思ったことを実行できず葛藤する主人公の姿から，自分自身の心を見つめ直し，葛藤を乗り越えて正しいことを実現しようとする意欲につなげる。



本時の展開

学 習 活 動

- 「友だちが悪いことをしていたらどうするか」を話し合い，学習のめあてを設定する。
- 教材を読んで，私の心の中でたたかいておきているのはなぜか話し合う。
- 心の中のたたかいに勝って，正しいと思ったことを言えるようになるためには，どんなことが大切かを考える。
- 教師の説話を聞く。
- 気付いたことや心に残ったこと，これからやってみたいことをまとめる。

手 立 て

- めあて「正しいと思っていることが言えるようになるには，どんなことが大切か考えよう」を提示する。
- 「あやちゃんに言わなくては」の理由を取り上げ，問い返しの発問をする。
- ペアワークで考えさせる。
- 友だちの感情に巻き込まれそうになったが，正しい行いを貫いた女の子の話をする。
- 授業の中で生まれた「勇気」「思いやり」「後悔」などの言葉をつかって，振り返りをさせる。

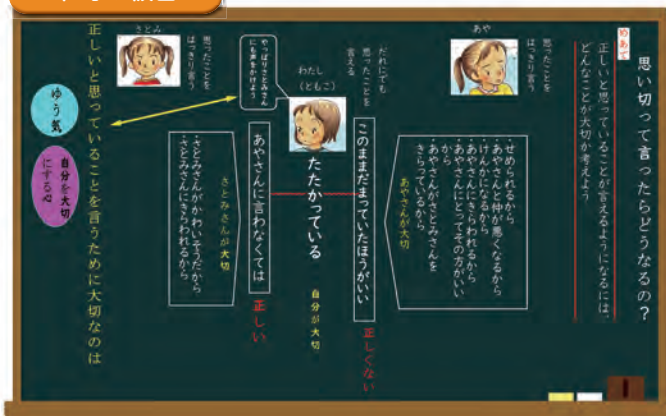
授業で工夫した点

問い返すことで考えを深めさせる

「友だちと一緒に言う」や「先生に言う」などの方法論になることが予想されたので「本当はどうすることがいいの？」と問い，思い切って言う方がよいことを押さえました。その上で「だけどそれができない…どうしたらいいと思う？」と問い，めあての「正しいと思っていることが言えるようになるためには，どんなことが大切か」と問うと，友だちと言うなどの方法論が始めました。「一人でやります。方法ではありません。どんな心をもつかと言うことです」と話すと子どもたちは考え込みました。こんな時こそ友だちと相談しようとペアで相談させると，子どもたちは真剣に話し合いました。

数分後，まだわからないと言う子もいましたが，わかったと言う子どもたちから，勇気や強い心や，さとみさんとあやさん，どちらが大切か考えるという意見が出ました。そこで，また「3人いる。自分のことは大切にしないでいいのか」と問い返し，自分自身に目を向けさせました。

本時の板書



【説話】5年生の子どもの実話。ある日「仲間はずしをしないうにしよう」と友だちに思い切って言ったら，自分が仲間はずれにされてしまった。その子どもは一人で勉強をしたり本を読んだりしていた。2週間もすると「何しているの？」と話しかけてくる子どもがいて，新しい友だちもできていた。一人で過ごしている間，その子どもはさみしかったと思うけど，心はすっきりして元気があった。もし，正しいと思ったことが言えなかったら元気があったと思う？○○さんが言うように，ずっともやもやしていたかもしれないね。

授業の内容 (T:教師 C:児童)

- T:仲良しの友だちが悪いことをしているのを見たとき，みんなはどうしますか？
C:注意する。
T:みんな注意できる？
C:うん。(うなずく)
C:うーん。(首をかしげる)
T:今日，みんなに考えてほしいのはこれです。

問題意識を高める

「めあて」を設定する

めあて:正しいと思っていることが言えるようになるには，どんなことが大切か考えよう

(教材範読後)

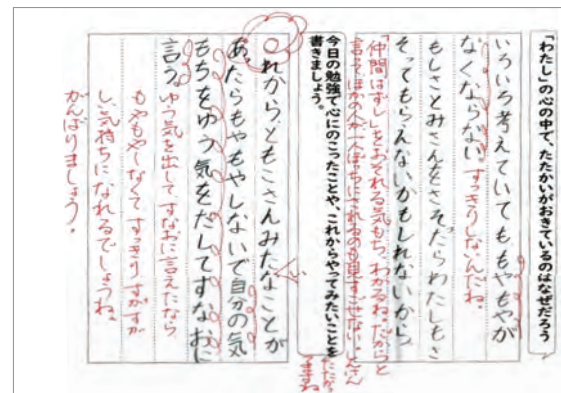
- T:あやさんに何を言いたいのか？
C:「やっぱり，さとみさんにも声をかけよう」です。
T:声をかけようというわたしと，黙っていた方がいいというわたしがたたかっている。なんでだろう。
C:あやさんと仲が悪くなってしまうそうだから。
C:言わない方が，あやさんにとっていいと思うから。
C:さとみさんが，かわいそうだけど，あやさんは嫌がるから。
C:どっちにしても，どっちかには嫌われるから。
C:誘いたいけど，けんかになるから。
T:本当はどうすることがいいの？
C:思い切って言った方がいい。
T:だけどできない。正しいと思った方を選びたいけど，できない。どんなことが大切なのかな。
C:友だちとはっきり言う。
T:一人でやります。方法ではありません。どんな気持ちをもっていたらいいのかな？

困った様子なので，グループで話し合わせる。

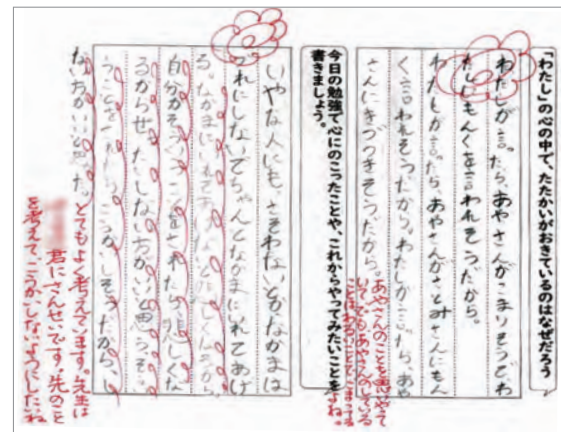
- C:強い心をもったら，あやさんに言えるんじゃないかな。
C:勇気をもったら言えるんじゃないかなと思います。
C:さとみさんとあやさん，どちらが大切か考える。
T:もう一人いるよ。自分も大切でしょ？
T:強い心，勇気をもつ。それから，自分のことも大切にすることだね。
T:ここで，先生が5年生を受けもった時に会った女の子の話を聞いてください。
T:今日の授業の振り返りを書きましょう。

子どもの反応

【A児のふり返し】



【B児のふり返し】



ここはナイス！
願いが明確



子どもたちの実態から，問い返すことで「勇気をもって正しいことを伝えることの大切さ」について考えを深めさせたいという教師の願いが明確です。発問を加えて，それに気が付かせようとしています。さらに，終末で勇気をもって伝えることは「自分も大切にするこ」だと押さえたのがナイスです。実話をもとにした説話で，和田先生の願いが伝わった授業です。いじめを生まない学級に育っていくことでしよう。

わたしならこうする！
子どもたちの言葉を引き出す



「一人でやります。方法ではありません。」には私もどきどきしました。ただ，教師の思いが強すぎると子どもたちは「先生の求める答え」を考えようします。そこで，「友だちとはっきり言う」の発言の後に「友だちとなら言えるんだね。一人でではできないのかな？」と問い返します。子どもたちにもう少し考えさせたいですね。「説話」の子が「すっきりして元気だった」の後に「どうして元気でいられたと思う？」と訊くと「思ったことをちゃんと言えたから」が子どもたちからでてくるのではないのでしょうか。